



校庭の梅のつぼみもほころび、春の訪れを感じさせる頃になりました。3年生と過ごすことができるのも、あと8日になりました。1、2年生にとって3年生は、小学校入学当時から、いえ、もっと幼いころから頼りがいのある兄姉のような大きな存在だったでしょう。

すでに第一希望の高校に入学が決まった3年生から、卒業を控えた今、1、2年生にぜひ伝えておきたい温かく説得力のあるメッセージを預かりましたので紹介します。ぜひ心に刻んで生活しましょう。

郷内中学校の主演として！



1、2年生の皆さん、中学校生活は楽しいですか。中学校3年間は、本当にあつという間です。たしかに勉強は年々難しくなり、覚えることも増え、テストもたいへんでした。だからといって、勉強から逃げるのではなく、自分のためにしっかり取り組んでください。頑張れば、必ず結果はついてきます。そして、勉強だけではなく、部活動も同じです。なまけるのは簡単です。目標に向かって仲間と一緒に共感できる楽しさ、喜び、くやしさを、そして達成感をこの中学校生活で、しっかりと感じてください。私は、3年間で、生徒会や部活動で仲間や先生方に支えられ成長できたと思います。

最後に、2年生の皆さん、3年生になる前に少しは1、2年生の復習を頑張りましょう。1年生の皆さんも、こつこつと勉強を頑張ってください。

「郷内中学校の主演」として、ひとりひとり自信をもってください。そして、郷内中学校の伝統を受け継いでいってください。

自主勉強を大切に！



1、2年生の皆さん、どこの高校に行きたいか考えていますか。まだ決めていない人がほとんどだと思います。決まっていなくても勉強は今のうちから頑張っていた方が絶対いいです。学力があると選択肢が広がります。自分が将来したいことに必要な資格が取れる高校を選んだりできるので、皆さん勉強を頑張ってください。

僕は、将来の夢がプロサッカー選手なので、3年間はサッカーを頑張り続けました。そして高校は推薦で行けるようなところまで成長できました。ここまで成長できた理由は、自主練を多くの時間してきたことだと思います。みんなとするチームの練習では同じ時間、同じことを練習します。なので、みんなとの差はあまりつきません。これを勉強に置き換えると、みんなとするチームの練習は学校の授業。自主練は学校以外の時間にひとりでする自主勉です。勉強はスポーツと同じです。みんながしていないような時間に自主勉できる人は確実に伸びます。そして、他の人と差をつけることができます。高校受験には定員があり、定員を超えた人数が受験した場合、おそらく点が低い人から落とされると思います。なので、他の人と差をつけることがすごく大切です。高校受験は、すぐやってきます。今のうちから頑張ってください。

(裏面に続く)

授業と面接を大切に！



皆さん、勉強をしっかりとしていますか。中学生になり、勉強も難しくなっていることだと思います。私が実際に受験を終えて、一番大切だと感じたのは、1年生から3年生までの内申点です。内申点を上げるためには、授業を真面目に聴き、たくさん勉強する努力が必要なのです。3年生になってしまうと、すぐに受験の時期がきてしまいます。なので、今から勉強時間を増やし、1、2年生の勉強内容を理解することが必要です。

教科の勉強だけではなく、面接の練習も大切です。私が受験した高校は、内申点や面接の配点がとても大きかったです。さらに面接は、質問に対する答えを考え、たくさん練習をしないと本番で言いたいことが言えません。なので、面接の勉強もしっかりとしておきましょう。本気で努力すれば、いい未来が広がると思うので、がんばってください。

好きなことを伸ばす努力を！



僕は日常、ピアノを弾いていないときでもピアノのことをけっこう考えていたり、有名なポップスの曲のリズムを表す音符を想像していたり、何のコードなのか考えていたりします。音楽は本当に面白いです。毎日の練習時間は2～3時間で、(日によってだいぶ違いますが)そんなに多くありません。ただ、音楽高校に入学が決まり、学校生活そのものが音楽になるので、高校生になると練習量は増えると思います。最近は、体になるべく負担をかけない弾き方などを練習しています。

本番の2週間前には、1回通してきっちり弾けるようになることを意識しています。また、最後の3日ほどは、毎日、家族の前で1回通して弾きます。親は、音楽のことがよくわかるので、緊張した状態で成功させる練習になります。そして、前日から当日のステージで弾く前にかけての練習は、本番で弾く体力を残すため、疲れ過ぎないことを意識しています。ほかに、本命のコンクールや入試の前に何回かステージで弾いておく、つまり「練習用の本番」を2、3回経験しておいて本命の本番でベストを尽くせるようにしています。それでも緊張は100%します。

本番当日は、手が冷えたら指が動かないので、家を出て会場で弾くまで、ほぼずっと手袋をつけています。なるべく好条件で弾くために、舞台裏に行く直前にトイレに行き、舞台裏では緊張で呼吸が浅くならないよう腹式呼吸を意識し、弾く直前まで水分補給をしたり、楽譜を見てイメージトレーニングをしたり、手が温まりすぎると手汗をかいて弾きにくいので、手袋をカイロに替えたり、手汗を拭いたりしています。そして、実際ステージで弾いているときは、「この曲のきれいさ、カッコよさを受け取ってくださいーい!!」という気持ちで弾いています。弾いたあとは自分が弾いている様子をビデオで聴いて、改善したい点を見つけます。

自分は、3歳でピアノを始めましたが、そのときは本気でするつもりはありませんでした。小学3年生で初めてきちんと練習してコンクールに出て、全くピアノが嫌にならなかったことが、おそらくきっかけです。特に理由はありませんが、自分は音楽が本当に大好きです。今は、プロを目指しています。いつかショパンのバラード2番を大きな舞台上で弾きたいと思っています。これからは、その曲が作られた意図を学ぶなど、今まで自分があまりしなかったことをたくさん勉強していこうと思います。そして、コンクールの実績も必要ですが、「〇〇の演奏そのものが好きだ」と、たくさんの人から言われるようなピアニストになりたいです。皆さんも、好きなことや得意なことを見つけ、目標に向かって頑張ってください。応援しています。